

【放デイ】保護者等向け	事業所名	放課後等デイサービスいっぽ
	アンケート実施期間	令和 1 年 11 月 1 日から 令和 1 年 11 月 22 日まで
	配布数	22 / 27 枚(回収率 81 %)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	1		広々と段差がなく、動きやすいと思う。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	3	1	専門性があるかは分からない。子どもの障害の程度やあられ方も様々なので適切かどうかは分からない。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	3	3	駐車場が砂利なので、車椅子の人は動きにくいと思う。スロープと手すりはない。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	21	1		その時にあった物をして下さっている。お出かけが多いのですごく良いと思う。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	21	1		子どもが飽きなく、目新しいことが多くあるので、子どもの視野が広がった。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11	6	5	自分が知らないだけかもしれませんが、障がいのない子との交流活動があったのでしょうか？特になくても良い。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22			
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	3		親から、いっぽさんからと、常に意見交換が来ていると思う。
非常時等の対応	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	5		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	5	1	特別支援学校に行ってる子、支援級に行ってる子をもつ親との考え方、理解の上で壁がある。父母の会はかえって保護者の負担になる場合もあり必要かどうか分からない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	5		次の日には、きちんと対応して下さっている。(早めの対応)
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	1		送ってきて下さる時に話が出来ている。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	22			
	14 個人情報に十分注意しているか	20	2		信頼しております。
	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15	6	1	防犯マニュアル、感染症マニュアルがあるのかは分からない。自信などの緊急時、どこへどの様な流れで動くか説明があると助かります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	1		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	16	5	1	日によって行きたい日、行きたくない日があるか、行ったら活動に参加できている。行きたくないと言って、いっぽのファイルを隠したり、くちゃくちゃにする事がある。いっぽ内では活動に楽しく参加出来ているという事なので安心しています。また今後も経過をみて戴きたく思います。休みの日は「いっぽ休み」と呼んでほしいです。
	18 事業所の支援に満足しているか	16	6		給食のバランスを考えて欲しい。(炭水化物が多すぎる)色々と本人の為に力を尽くして下さい。ありがたいです。

【放デイ】事業者向け	事業所名	放課後等デイサービスいっぽ			
	アンケート実施期間	令和 1年 11月 1日から	令和 1年 11月 22日まで		
	配布数	5/6 枚(回収率 83 %)			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		1	利用者の状況に応じて部屋を分けている。今後支援する子の人数が増えれば対策が必要である。子どもの状況に合わせて部屋ごとに区切ることもある。
	2 職員の配置数は適切であるか	2	2	1	職員配置数は適切だが、個別に対応が必要な児童がいる場合は不足を感じる。今後、支援する子どもが増えるのなら職員を増やすべき。外へ出てしまったり、個別で対応しなくてはいけない時に少
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			1	4 現状は安全に支援できているが、来年度の子の1人に足の不自由な特性があると不安。駐車場及び玄関は設計上バリアフリー化されていない。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3		2	会議等で話し合う機会はあるが、サポート職員とも共有できると良い。毎回ではないがどうやって進めるか相談し合っている。支援の振り返りを行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4		1	茶話会や特別企画のときにアンケートを取っている。アンケート結果を踏まえて業務改善に取り組んでいる。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		1	法人のホームページで公開している。各市町のホームページにも公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	1 外部評価はまだ行っていない。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		1	近隣の市町の研修に参加している。多くの研修に行かせて貰い内容に合わせて職員が学んでいる。必要な研修には参加しているが、時間帯の都合で参加出来ないものも多い。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4		1	定期的なアセスメントをおこない、支援計画を作成している。日々、保護者の意見に耳を傾けニーズには応えられていると思う。送迎時に保護者の方からニーズや課題を拾い上げ、計画に繋げている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4		1	子どもの能力や特性に合わせて、絵カードや文字カードを使用している。常にあせ
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			話し合いでプログラムの立案を行っている。相談し合いながら子どもたちの楽しめるものを考えている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3		2	子どもの意見を聴き、楽しめるプログラムを考えている。1年サイクルで考えている。固定しているものもあるが、毎月新しいものを取り入れようとしている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		1	長期休暇では外出等で様々な体験、経験が出来る様、心掛けている。それぞれ支援する日に合わせて室内の活動プログラムやお出掛け等で差別化を図っている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3		2	アセスメントを基に子どもの発達に合わせて支援計画を作成している。子どもに合わせて手先を使う練習等、個別のものを取り入れている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			事前打ち合わせを行い、その日の支援や役割の確認をしている。個別につく児童の確認や流れを周知させている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		2	送迎がある為、時間がない時は後日、振り返りをし、情報共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			毎日実施記録を記入し、支援計画作成時には検証している。毎日職員間でも確認し合いながら適切に記録をとっている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4		1	定期的に保護者との面談を行い、支援計画の評価、課題の見直しを行っている。外部の支援員にも意見をもらっている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1		4	子どもたちが意欲的に関われるような活動を考え

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		サービス担当者会議の招集はされていない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1	1	学校との情報共有は少ないが、年間行事予定、下校時刻の確認は保護者から提供して載っている。トラブルは適切にしている。学校のは必要時連絡がとれる体制になっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		1	4	医療的ケア児の体制はまだ整備されていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		児童発達支援事業所や保育園に訪れ、情報を載っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3		対象者がまだ居ない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5			発達障害者支援センターより助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	2	同法人の保育園児と遊具の貸し借り等で関わっている。以前はあったが現在は出来ていない為、今後機会を作っていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		管理者は子ども部会長を務めている。放デイ連絡会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			お迎えや送迎時にその日の子どもの様子を伝え、保護者からは家での様子等を伺い、共通理解を持てるよう努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4		事例を聴いた上で方法や対策と一緒に考え、アドバイスもしている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	2		初回の面談にてお伝えしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			保護者から要望があればいつでも対応している。相談をされた場合は適切な助言ができるよう、職員間で話し合ってから答えるようにしている。保護者の悩みは職員間で共有し、改善と解決を心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1		茶話会や活動公開日等を行っている。親子参加型の交流会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			苦情があった場合は職員間で共有し、迅速に対応するよう心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			月に1回おたよりを発行し、日々の様子や行事予定を伝えている。ホームページでも様子を伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	4	1		鍵付き書庫にて書類等保管している。社内規定によりUSBの使用は禁止となっている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		絵カード等を活用し、意思の疎通を図っている。保護者には具体的に伝えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	1	行事は色々行っているが、まだ地域住民の参加型にはしていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		5		訓練をお行い、職員は周知しているが保護者には整備していく必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			月に1回曜日ごとに避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4		保護者への確認を行っている。対象者なし。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2		時間、場所、状況等、細かく記載し共有している。